

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-259760

(43)Date of publication of application : 13.09.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G06K 7/00
H04M 11/00

(21)Application number : 2001-056705

(71)Applicant : WE'LL CORPORATION:KK
OPEN MAGIC:KK

(22)Date of filing : 01.03.2001

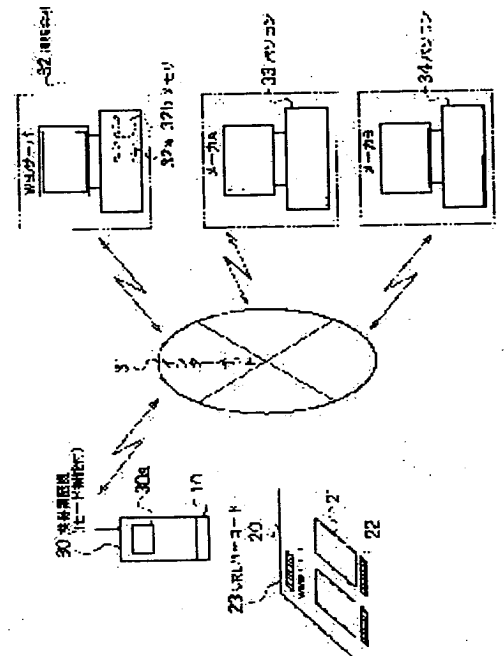
(72)Inventor : OTSUKI TAKESHI
HASEBE MAKOTO

(54) MERCHANDISE ORDER ACCEPTANCE METHOD USING PORTABLE TELEPHONE, AND PORTABLE TELEPHONE WITH BAR CODE READER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable telephone with a bar code reader that can continuously facilitate an order for catalog merchandise by virtue of the integration of a bar code reader with the portable telephone, and an ordering method using the portable telephone.

SOLUTION: The portable telephone is equipped with the bar code reader and a bar code function button, and a computer built in the portable telephone is equipped with a function for storing read data from the bar code reader and a function for accessing and transmitting the stored data. For an order for merchandise in a catalog 20, when the portable telephone 30 is used to scan a first bar code indicative of a URL code of a maker shown on a page of the catalog 20, the URL code is automatically transmitted to the site. When the portable telephone 30 is used to scan a second bar code indicative of a merchandise code shown below a photograph of the merchandise on the page, the merchandise code is transmitted to the site. When the quantity of merchandise and user information are transmitted, the site transmits the merchandise code, the merchandise quantity and the user information to the maker as ordering information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.07.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.12.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

Searching PAJ

2/2 ページ

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-259760

(P2002-259760A)

(43)公開日 平成14年9月13日(2002.9.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	G 0 6 F 17/60	3 1 8 G 5 B 0 7 2
	Z E C		Z E C 5 K 1 0 1
	3 3 6		3 3 6
	5 0 6		5 0 6
G 0 6 K 7/00		G 0 6 K 7/00	U

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-56705(P2001-56705)

(22)出願日 平成13年3月1日(2001.3.1)

(71)出願人 500254837

株式会社 ウイル・コーポレーション
石川県松任市福留町370番地

(71)出願人 500254859

株式会社 オープンマジック
東京都千代田区岩本町2丁目3番3号

(72)発明者 大槻 健

石川県松任市宮永新町400番地 株式会社
ウイル・コーポレーション内

(72)発明者 長谷部 誠

東京都墨田区立川3-6-15-804

(74)代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

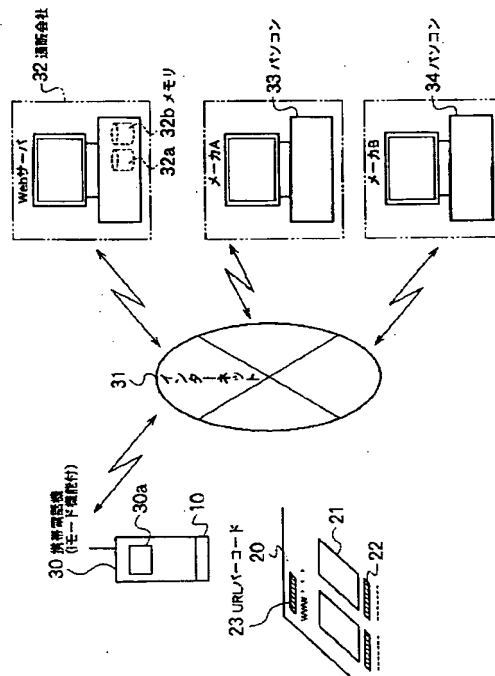
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯電話を用いた商品受注方法及びバーコードリーダ付き携帯電話

(57)【要約】

【課題】 携帯電話にバーコードリーダを一体化していつでも容易にカタログ商品についての発注ができるバーコードリーダ付き携帯電話及びこの携帯電話を用いた発注方法を得る。

【解決手段】 携帯電話にバーコードリーダおよびバーコード機能ボタンを付設するとともに、携帯電話に内装したコンピュータにバーコードリーダよりの読取データを蓄積する機能と、蓄積したデータを呼出し送信する機能を装備する。そして、カタログ20の商品を発注するとき、カタログ20のページに記されているメーカーのURLコードを示す第1のバーコードを携帯電話30でスキャンさせると、このURLコードがサイトに自動的に送信される。このページの商品の写真の下に記されている商品コードを示す第2のバーコードを携帯電話30でスキャンさせると、この商品コードがサイトに送信される。次に、数量、ユーザ情報を送信させると、サイトからメーカーに対して商品コードと数量とユーザ情報とを発注情報として送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サーバ側からコンピュータネットワークを介して、紙媒体に記されている商品の発注画面をバーコード付き携帯電話に供給する商品受注方法において、前記紙媒体は、前記サーバの URL コードと、該 URL コードを示す第 1 のバーコードと、商品の写真と、商品コードを示す第 2 のバーコードとが記されており、前記携帯電話から前記第 1 及び第 2 のバーコードを読みとらせて、これらのバーコード情報を送信させる段階と、前記サーバは前記携帯電話からのバーコード情報を読みとったとき、数量の入力を前記携帯電話に促す段階と、前記携帯電話に住所、氏名、引き落とし機関情報からなる送り先情報の入力を促す段階と、前記第 1 及び第 2 のバーコード情報、数量、送り先情報を一組にして発注情報として前記メカに送信する段階とを有することを特徴とする携帯電話を用いた商品受注方法。

【請求項 2】 前記発注情報を受信したメカは、前記送り先情報をバーコードで示した送り先券を発行して商品と共に前記ユーザに発送する段階とを有することを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話を用いた商品受注方法。

【請求項 3】 前記携帯電話を有するユーザは、前記送り先券を有しているときは、前記送り先情報をこの送り先券のバーコードを前記携帯電話で読みとって前記サーバに送信する段階とを有することを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話を用いた商品受注方法。

【請求項 4】 前記紙媒体は、カタログであり、該カタログはページ毎に前記メカ名と号数と地域とからなる URL コードと、該 URL コードの第 1 のバーコードと、商品の写真と、商品コードの第 2 のバーコードとを記してあることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の携帯電話を用いた商品受注方法。

【請求項 5】 紙媒体は、前記カタログに代えて、メカ名と号数と地域とからなる URL コードの第 1 のバーコードと、商品の写真と、商品コードの第 2 のバーコードとを商品の写真の箇所に印字した広告であることを特徴とする請求項 1、2、3 又は 4 記載の携帯電話を用いた商品発注方法。

【請求項 6】 広告にバーコードと数字列とを付した紙媒体での販売に用いられる携帯電話であって、底面に送受光面を設け、該送受光面を介してレーザ光をスキャニングさせながら受光して 2 値化コード列を得るバーコードリーダを設けたバーコードリーダ付き携帯電話。

【請求項 7】 広告にバーコードと数字列と相手先の URL をバーコードで付した紙媒体での販売に用いられる Web 機能を有する携帯電話であって、

底面に送受光面を設け、該送受光面を介してレーザ光をスキャニングさせながら受光して 2 値化コード列を得るバーコードリーダを設けたバーコードリーダ付き携帯電話。

【請求項 8】 前記紙媒体のバーコードを前記バーコードリーダで読み込んだとき、この 2 進化コードを 10 進数に変換して画面に表示させる手段と、前記読み込んだバーコードを購入決定の指示があったときに受け付けて記憶する手段と、

前記記憶したバーコードを、相手側と回線が結ばれたときに順次読み込んで送信する手段とを有することを特徴とする請求項 6 又は 7 記載のバーコード付き携帯電話。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本願発明は、紙媒体（例えばカタログ）を用いた通信販売の発注に好適な携帯電話に関するものである。より詳しくは、カタログ通信販売の購入にあたりバーコードリーダを介して電話発注するに好適な携帯電話に関するものである。

【0002】

【従来の技術】カタログ通信販売の購入にあたっては、一般に、添付のはがきを利用するが、急ぐ場合には電話・携帯電話を利用してカタログに記載の商品番号その他購入者情報を通知している。

【0003】また、カタログ通信販売にあたり配布されるカタログには、商品写真に商品番号とバーコードとが付記されているものもある。このバーコードによる発注は、コンピュータにバーコードリーダとを接続し、コンピュータで通販会社の URL を入力した後に、カタログ等のバーコードをコンピュータに接続したバーコードリーダで読取らせて送信している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、電話・携帯電話を利用してカタログに記載の商品番号等を通知して発注する方法では、注文するユーザーにとってはカタログの商品番号を覚える必要がある。

【0005】また、商品番号を忘れた場合には再度カタログを開いて商品番号を伝える必要がある。従って、電話・携帯電話を利用してカタログの商品番号等を発注する方法では、スムーズに注文が行えない事態が生じるという課題があった。

【0006】また、注文する商品が多い場合には、全ての商品の商品番号をあらかじめメモして、携帯電話を用いて電話をかけてメモの商品番号を読み上げて通話する必要がある、注文者にとっては注文リストの作成作業が負担となるという課題があった。

【0007】一方、バーコードリーダによる発注はコンピュータとバーコードリーダとを接続して実現するものであるから、装置が大形になってコストが高くなるという課題がある。

【0008】更に、バーコード付きカタログを例えば出先で読んでそのカタログに記載の商品を購入したいとしても、コンピュータとバーコードリーダとからなるシステムがないと発注できない。つまり、カタログをこのシステムの存在場所に持参することで初めて発注が可能となるものであり、発注のチャンスを逃がす場合が生じるという課題がある。

【0009】本発明は、以上の問題点を解消すべく、携帯電話にバーコードリーダを一体化していつでも容易にカタログ商品についての発注ができるバーコードリーダ付き携帯電話を得ることを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明のバーコード付き携帯電話に供給する商品受注方法は、サーバ側からコンピュータネットワークを介してカタログの商品の発注画面をバーコード付き携帯電話に供給する商品受注方法において、前記カタログは、メーカ毎にページ分けされ、このページにはメーカのURLコードの第1のバーコードと、商品の写真と、商品コードの第2のバーコードとが記されてある。

【0011】前記携帯電話から前記第1及び第2のバーコードを読みとらせて、これらのバーコード情報を送信させる段階と、前記サーバは前記携帯電話からのバーコード情報を読みとったとき、数量の入力を前記携帯電話に促す段階と、前記携帯電話に住所、氏名、引き落とし機関情報からなる送り先情報の入力を促す段階と、前記バーコード情報、数量、送り先情報を一組にして発注情報として前記メーカに送信する段階とを備えたことを要旨とする。

【0012】また、前記発注情報を受信したメーカは、前記送り先情報をバーコードで示した送り先券を発行して商品と共に前記ユーザに発送する段階とを備えたことを要旨とする。

【0013】また、本発明のバーコードリーダ付き携帯電話は、広告にバーコードと数字列とを付したカタログでの販売に用いられる携帯電話であり、底面に送受光面を設け、該送受光面を介してレーザ光をスキャニングさせながら受光して2値化コード列を得るバーコードリーダを設けたことを要旨とする。

【0014】また、本発明は、広告にバーコードと数字列と相手先のURLをバーコードで付したカタログでの販売に用いられるWeb機能を有する携帯電話である。

【0015】底面に送受光面を設け、該送受光面を介してレーザ光をスキャニングさせながら受光して2値化コード列を得るバーコードリーダを設けたことを要旨とする。

【0016】

【発明の実施の形態】＜実施の形態1＞以下、図面を参照して本願発明を詳細に説明する。

【0017】図1は、本発明を実施したバーコードリー

ダ付き携帯電話機の要部ブロック図で、数字キーや各種の機能キーを有するキー入力部1と、呼出し電話番号や登録電話番号や機能状態等を表示する表示部2と、機能ボタン12と、送話器6と、受話器7と、送話器6からの音声信号および受話器7への音声信号にかかるベースバンド処理を司るベースバンド処理部5と、無線の送受信にかかる制御を司る無線送受信部4と、短縮ダイヤル番号に対応して相手先番号および必要に応じて相手先名等のラベルを記憶するダイヤルメモリ9と、コンピュータ(制御部)8と、ケース11と、アンテナ3と、バーコードリーダ10とで構成されている。

【0018】図2は、本発明の携帯電話機の外観を示し、バーコードリーダ10はケース11の底面に設けられており、バーコード機能ボタン12は携帯電話機の上面に位置してキー入力部1と表示部2との間に設けられている。

【0019】前述のバーコードリーダ10は、本体ケース11の底面に、ガラス等の部材で形成されてレーザ光を透過させる光送受面10aを設け、この光送受面10aを介してバーコード読取り部14が設けられている。

【0020】バーコード読取り部14は、内部に発光部13aと受光部13b等からなる光スキャナ式光学系部13とを備え、発光部13aからのレーザ光をスキャンさせて、受光部13b(アレイ配列)で受光し、これを電気信号に変換する。つまり、カタログ等20の商品写真21に付記したバーコード22(図3参照)よりの反射光の明暗を検知して、バーコードの線幅の大小に対応した2値信号(01信号)を出力する。

【0021】ケース11に内蔵したコンピュータ8は、携帯電話機としての公知の制御機能に加えて、バーコードリーダ起動指令処理手段14、バーコードデータ送信処理手段15およびモード判定処理手段16の機能を有し、バーコードファイル17を装備している。前述のモード判定処理手段16は、機能ボタン9aの押下回数からモードを設定する。例えば、機能ボタン9aが2回押下されたときは、バーコード取得モードと判定してバーコードリーダ起動指令処理手段14を起動させ、機能ボタン9aが例えば3回押下されたときは、バーコード送信モードとして、これをメッセージ表示させると共に、バーコード送信処理手段15を起動する。また、機能ボタン9aが4回押下されたときは、バーコードモードの解除と判定してメッセージ表示させると共に、バーコード起動指令処理手段19、バーコード送信処理手段15の動作を停止させる。

【0022】また、このモード判定処理手段16には、バーコード用のAボタン9b(機能ボタンでもよい)が接続され、このAボタン9bが1回押下されると、バーコード読取り部14からのレーザ光をスキャニングさせる。

【0023】さらに、Aボタン9bが2回押下される

と、購入決定と判定して、バーコードデータをバーコードファイル 17 にファイリングさせる。

【0024】また、モード判定処理手段 16 には、図示しない送信ボタン、送信オフボタン等が接続され、バーコード送信モードにされた後に、送信ボタンが押下されると、バーコードデータ送信処理手段 15 を起動させると共に、表示部 2 にバーコード送信モードであることをメッセージ表示する。

【0025】バーコード起動指令処理手段 19 は、起動に伴ってバーコード読取り部 14 を起動させた後に、A ボタン 9 b が 1 回押下されると、スキャニング開始指示をバーコード読取り部 14 に送出して、読みとられたバーコードデータ (2 値コード) を 10 進数に変換して表示部 2 に表示させる。

【0026】また、読みとられたバーコードデータをバーコードファイル 17 に順次記憶する。

【0027】バーコードデータ送信処理手段 15 は、バーコード送信モードと判定されると、相手先の電話番号を入力させるメッセージを表示させる。そして、ベースバンド処理部 5、無線送受信部 4 を用いて電話番号の相手と回線を結んだ後に、バーコードファイル 17 に記憶されているバーコードデータをベースバンド処理部 5、無線送受信部 4 を用いて送信させる。

【0028】図 4 および図 5 は、コンピュータ (制御部) 8 がバーコードモード時および送信モード時に実行する処理の一例を示すフローチャートであり、以下、図 1 ないし図 3 を参照して本実施例の動作を説明する。また、バーコードによる購入の場合は、予め通販会社に購入者の ID を登録するのが良い。

【0029】初めに、機能ボタン 9 a を操作してバーコード取得モードにして (S 1)、携帯電話機の底面をカタログ等 20 のバーコード 22 に対向させる。

【0030】次に、バーコードリーダ起動指令処理手段 14 は、A ボタン 9 b が 1 回押下されたかどうかを判断する (S 2)。

【0031】ステップ S 2 で A ボタン 9 b の押下と判定したときは、バーコード起動指令処理手段 19 は、バーコード読取り部 14 にスキャニング指示を行う (S 3)。

【0032】このスキャニング指示により、バーコード読取り部 14 は、レーザ光を発光部 13 a からスキャン発光させながら受光部 13 b で受光させバーコードデータが得られたかどうかを判定する (S 4)。このバーコードデータが得られたかどうかの判定は、受光レベルが所定以上で、かつ 2 値化コード化できたときに、バーコードデータが得られたとしている。

【0033】ステップ S 4 で、バーコードデータが得られたと判定したときは、バーコードデータを解読し、これを 10 進数に変換して表示する。

【0034】すなわち、購買者は、表示された数値列

(例えば 102345) と、カタログの広告のバーコードの下に付加されている数字と比較することで、所望の製品を選択したことを分かる。

【0035】次に、A ボタン 9 b が続いて押下 (2 回押下) されたかどうかを判定する (S 7)。ステップ S 7 で A ボタンが押下されたと判定したときは、購入決定と判定し (S 8)、これをバーコードファイル 17 に記憶する (S 9)。

【0036】このファイリングに当たっては、番号等を生成し、この番号に対して読み込んだバーコードを対応させて行くのが好ましい。

【0037】次に、バーコードモードの解除かどうかを判定する (S 10)。ステップ S 10 でバーコードモードの解除と判定したときは、バーコード送信モード (機能ボタン 3 回) にされたかどうかを判定する (S 11)。ステップ S 11 で、送信モードと判定したときは、バーコードデータ送信処理手段 15 が相手先の電話番号を入力させ、送信ボタンの押下で回線を接続させる。そして、相手先と回線が接続されたかどうかを判定する (S 12)。

【0038】ステップ S 12 で回線の接続と判定したときは、バーコードファイル 17 のバーコードデータを表示させる (S 13)。この表示は、10 進数で表示する。

【0039】そして、この表示された複数のバーコードデータを機能ボタンを用いて選択する毎に (S 14)、そのバーコードデータをバーコードデータ送信処理 15 を経てベースバンド処理部に出力して送信する (S 15)。このとき、購入者は ID をテンキーを用いて入力して、この ID と共に、バーコードデータを送信させている。

【0040】従って、購入者は容易にカタログ商品についての発注ができると共に、予め登録している購入者のみが購入できる。

【0041】上記の実施例においては、携帯電話の底面部にバーコードリーダ 10 の光学系を装備してバーコードリーダ 10 の検地面を携帯電話の下方向としたが、携帯電話の側面部にバーコードリーダ 10 の光学系を装備してバーコードリーダ 10 の検地面を携帯電話の側方向とするか、携帯電話の背面部にバーコードリーダ 10 の光学系を装備してバーコードリーダ 10 の検地面を携帯電話の背面方向として、実施例のごとくカタログ等 20 に対し垂直方向とすることなく、カタログ等 20 の上に携帯電話を寝かせた状態としバーコードリーダ 10 の光学系を重ねても本発明の目的を達成できるものである。また、機能ボタンは、実施例では携帯電話の表面の中央部に設けたが、適宜の個所 (例えば、携帯電話の右側面) に設けてもよいものである。

【0042】＜実施の形態 2＞上記実施の形態 1 では一般的な携帯電話にバーコードリーダを一体化して用いる

10

20

30

40

50

ことを例として、図6に示すようにi-mode（登録商標）の携帯電話30にバーコードリーダ10を一体化させてもよい。つまり、ブラウザ機能を備え、バーコードリーダで読み込まれたカタログのホームページのURLコードに従って、このURLを持つプロバイダーに対してHTMLなどの情報の転送を要求する。

【0043】そして、届いたHTMLを解析し、表示部分を画面に表示すると共に、このHTMLに画像などのリンク情報が存在していた場合、この画像の転送要求を行う、つまり、携帯電話30のバーコードリーダで読み込まれたURLを元にアクセスを行い、その先頭ページ（ホームページ）の転送要求を送信し、送られてきたHTMLソースを解析すると共に、クライアントマシンの画面上に表示部を表示し、さらにはHTMLに含まれるCGIスクリプトなどの転送要求を行う。

【0044】すなわち、例えばカタログの商品毎に商品番号とバーコードとを記載すると共に、通販会社のURLをバーコードで記載し、バーコードリーダの携帯電話30でURLのバーコードを読み込みする。

【0045】このURLのバーコードの2値化データは、英文字、数字に変換されて表示され、送信ボタンの選択に伴って、インターネット31を介してプロバイダである通販会社のwebサーバ32と回線を接続する。

【0046】そして、上記の実施の形態と同様に、バーコード読み取りモードにされた後に、送信モードにされて読み込んだバーコードデータが送信される。

【0047】このバーコードは通販会社に一旦保持された後に、購入品の製造会社（以下メータという）にミラーリングされる。

【0048】図6を用いてバーコード付き携帯電話30を用いたときの動作を図7及び図8を用いて説明する。

【0049】例えば、百貨店、通販のカタログは、百貨店、通販会社が代理店となって消費者からの注文を受ける。

【0050】このカタログには、電話番号又はファックス番号、URLコードが掲載され、商品番号で注文をするようになっている。

【0051】また、一冊のカタログには、ページ毎に異なる販売店の電話番号又はファックス番号、URLコードが掲載されるものもある。

【0052】このようなカタログを用いての実施の形態を以下に説明する。

【0053】携帯電話30を用いる場合のカタログ20は、図7に示すように、メーカーの商品を載せたページにはメーカーのURLコードと、このURLコードのバーコード23とを記載すると共に、各商品21には商品コードを示すバーコード22を記載している。

【0054】例えば、1ページから3ページにはAメーカーの商品の写真と、バーコード22a iと、AメーカーのURLのバーコード23a iとが記載され、4ページか

ら7ページにはBメーカーの商品の写真と、バーコード22b iと、BメーカーのURLのバーコード23b iとが記載されたカタログ20であることが望ましい。

【0055】そして、通販会社のwebサーバ32と、メーカーAのパソコン33と、メーカーBのパソコン34とをインターネット31で接続する。通販会社のwebサーバ32はインターネットと各メーカーのパソコンとを接続する。

【0056】また、携帯電話30は、底面に実施の形態1で述べたバーコードリーダ10が設けられ、ケース11内には、前述したバーコードリーダ起動指令処理手段14、バーコードデータ送信処理手段15及びモード判定処理手段16の各機能と、iモード機能とを有するコンピュータ8、並びにバーコードファイル17が設けられている。

【0057】そして、携帯電話30を用いて、URLバーコード23と電話番号とを送信するときは、まず、iモード機能を選択し、次に、機能ボタン9aを2回押下してバーコード取得モードに設定し、次に、Aボタン9bを1回押下してバーコードリーダ10を起動させる。

【0058】そして、カタログ20に付記されたURLバーコード23を読み込ませる。この時、URLコードが表示部30aに表示される。

【0059】その後は、Aボタン9bを2回押下してそのURLコードをバーコードファイル17に記憶させ、機能ボタン9aを3回押下してバーコード送信モードに設定してURLコードを送信させる。

【0060】なお、カタログ20上に掲載された商品毎の商品番号のバーコード22の読み込みと送信については、実施の形態1で説明した通りである。

【0061】webサーバ32は、メインプログラムが書き込まれたメモリ32aと、このメインプログラムの実行により得られた携帯電話ユーザの商品購入情報、支払方法の情報の提供、ユーザへの商品送り先情報等を記録するメモリ32bとを有している。

【0062】前記メインプログラムは、カタログ20上の商品の購入手続を携帯電話ユーザに指示するための購入手続用プログラムと、携帯電話ユーザの氏名や住所、商品の購入金額の支払方法等の情報を入力させるためのユーザ情報作成用プログラムと、これらのプログラムの実行により得られた各種情報を基に発注データを作成する発注データ作成用プログラムと、この発注データ作成用プログラムの実行により作成された発注データをメーカーに送信するための送信用プログラムとからなっている。

【0063】例えば、ユーザはカタログ20の10ページと11ページ（メーカーAの商品）を開き、希望の商品があった場合は、前述した操作によりAメーカーのバーコード23a（URLコード）を読みとって携帯電話30からwebサーバ32にアクセスする。このときユーザ

の電話番号とURLコードとがインターネット31を介してwebサーバ32に送信される(d1)。

【0064】次に、webサーバ32は、携帯電話30の電話番号(Ai)をメモリ32bに記憶し、購入手続用プログラムを実行する。

【0065】この購入手続用プログラムは、カタログ20に掲載された商品番号の入力を促す入力画面をインターネット31を介して提供する(d2)。

【0066】次に、ユーザは携帯電話30を操作して、希望の商品の写真の下に記載されている商品番号のバーコード22aiを読みとらせる。

【0067】この商品番号情報がインターネット31を介して通販会社のwebサーバ32に送信される(d3)。

【0068】webサーバ32は商品コード(Bi)を前記電話番号(Ai)に関連させてメモリ32bに記憶する。

【0069】次に、webサーバ32は、商品の数量を入力させる画面をインターネット31を介して携帯電話30に提供する(d4)。

【0070】この画面の提供により商品の数量(Ci)がユーザは携帯電話30を操作して希望の数量(キー入力)を送信する(d5)。

【0071】この数量Ciを電話番号Ai、商品コードBiに対応させて記憶して、送り先券35を有しているかどうかを聞くためのメッセージを送信する(d6)。

【0072】このメッセージを受けると、ユーザは送り先券35(氏名、住所、電話番号、引き落とし金融機関情報をバーコードで記している)の有無を携帯電話30を操作(キー)して送信する(d7)。

【0073】次に、webサーバ32は、送り先券が無いが送信された場合は、氏名、住所等の送り先と購入金額の支払方法(銀行名や口座番号等)を入力させる画面をインターネット31を介して提供させる(d8)。

【0074】この画面の提供によりユーザは携帯電話30を操作して、氏名、住所等の送り先(Fi)と購入金額の支払方法(Gi)を送信する(d9)。

【0075】webサーバ32は、この各情報(Fi)、(Gi)を電話番号(Ai)に関連させるようにメモリ32bに記憶し、発注データ作成用プログラムを実行する。このプログラムは、前記メモリ32bに記憶した各種情報(Ai)～(Gi)を一組にして発注データとして送信用プログラムにより、インターネット31を介してメーカA(携帯電話30のURLコードを用いる)に送信する(d10)。次に、メーカAのパソコン33は、発注データをバーコード化し、このバーコードを印字した送り先券35(バーコードは文字化されてバーコードの上に記されている)を得て、発注された商品コードの商品と共にユーザに配送する(d13)。また、ユーザは送り先券35を既に有している場合は、前

述の送り先券を得るための情報(金融機関、住所、氏名等)の入力は行わないで、携帯電話30を操作して送り先券35のバーコードを読みとらせて、このバーコード情報をメーカAに送信させる(d11、d12)。

【0076】次に、予め送り先券を得ている場合のシーケンスを図8を用いて説明する。例えば、カタログ20のメーカBの商品(15、16ページ、商品コードのバーコード22bi)を得る場合は、上記と同様に、d15～d21の手順の通信となるが、送り先券があるかどうかのwebサーバ32の問いには送り先券があるとして送信する(d21)。

【0077】そして、携帯電話30を操作して送り先券35のバーコードを読みとらせて、このバーコード情報をメーカBに送信させる(d22、d23)。

【0078】すなわち、ユーザは通販会社のwebサーバに加入しているいずれかのメーカに対してカタログ20の商品を1回注文するだけで、そのメーカから送り先券を得ることになるから、以後は別のメーカへの発注時にはこの送り先券で配達と課金を完了することになる。

【0079】また、一冊のカタログが百貨店、通販会社の場合は、各ページには、カタログ名、号数、百貨店名、地域をURLコードとする。

【0080】例えば、「www/Well.com. カタログ名/09(号数)/地域」として記載され、これがバーコード化されてカタログの各ページの先頭に記載されている。

【0081】従って、ユーザは携帯電話30を用いて、「www/Well.com. カタログ名/09(号数)/地域」のバーコードと、商品コードのバーコードとを読む込むだけで、サイトに会社名とカタログの号数と地域と商品名とが送信されることになる。

【0082】なお、上記実施の形態では、広告媒体をカタログとして説明したが、チラシ又はチケット販売紙に前述のバーコードを記載して、バーコード注文ができるようにしてもよい。

【0083】

【発明の効果】以上のように本発明の携帯電話とカタログを用いた商品受注方法によれば、カタログの商品をユーザが発注するとき、カタログのページに記されているメーカのURLコードを示す第1のバーコードを携帯電話でスキャンさせると、このURLコードがサイト(webサーバ)に自動的に送信されて発注の為の入力画面の提供を受ける。

【0084】次に、このページの商品の写真の下に記されている商品コードを示す第2のバーコードを携帯電話でスキャンさせると、この商品コードがサイトに送信される。次に、携帯電話を操作して数量、ユーザ情報(氏名、住所等)を送信させると、サイトからメーカに対して商品コードと数量とユーザ情報とを発注情報として送信する。

【0085】このため、ユーザは単に所定のバーコードを携帯電話でスキニングさせるだけで所望の商品を次々と発注できるという効果が得られている。

【0086】また、一度、申し込みをするとメーカ側から発注情報（引き落とし銀行）を示すバーコードを印字した送り先券を商品と共に配送するので、次の発注又は他のメーカの商品を発注するときは、この送り先券のバーコードを読みとらせるだけで、適切な発注が可能となるから、ほぼ全ての発注の操作をカタログのバーコードだけで発注が可能となる。

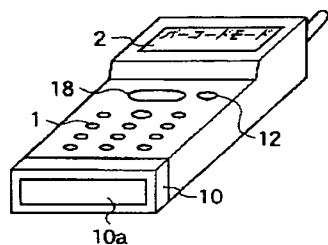
【0087】また、本発明のバーコード付き携帯電話によれば、携帯電話の底面に送受光面を設け、この送受光面を介して、レーザ光をスキニングさせながら受光して2値コードに変換するので、広告にバーコードを付したカタログでの販売においては、カタログの商品番号を購買者が覚えなくとも、スムーズに注文が行えるという効果が得られている。つまり、本携帯電話があれば、何時でもどこでも容易に注文ができるので商機を逃がすことがない効果を有する。

【0088】また、web機能を有する携帯電話の底面に送受光面を設け、この送受光面を介して、レーザ光をスキニングさせながら受光して2値コードに変換するので、広告にバーコードと相手先のURLを付したカタログでの販売においては、簡単に相手先と回線を接続して、所望の商品を容易に注文できるという効果が得られている。

【0089】また、注文する商品が多い場合でも、読み込んだバーコードを記憶して、送信時にこれらを一度に配信するので、容易に大量の商品をスムーズに注文できるという効果が得られている。

*30

【図2】



* 【図面の簡単な説明】

【図1】本実施の形態1のバーコードリーダ付き携帯電話機の要部ブロック図である。

【図2】本発明を実施したバーコードリーダ付き携帯電話機の斜視図である。

【図3】バーコードを付記したカタログの説明図である。

【図4】コンピュータがバーコードモード時に実行する処理を示すフローチャートである。

10 【図5】コンピュータが送信モード時に実行する処理を示すフローチャートである。

【図6】本実施の形態2の携帯電話を用いた商品発注システムの概略構成図である。

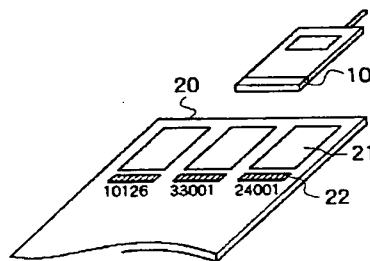
【図7】本実施の形態2の動作を説明するシーケンス図である。

【図8】本実施の形態2の動作を説明するシーケンス図である。

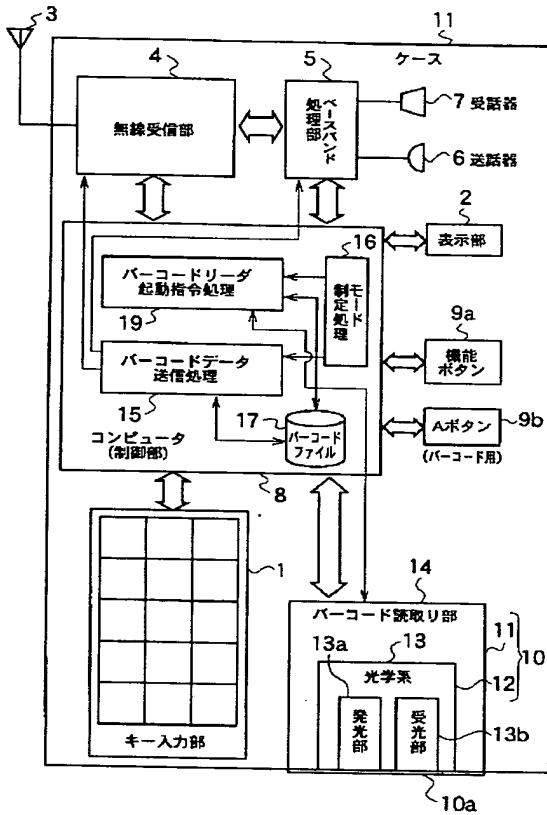
【符号の説明】

- 1 キー入力部
- 2 表示部
- 8 コンピュータ
- 10 バーコードリーダ
- 14 バーコードリーダ起動指令処理手段
- 15 バーコードデータ送信処理手段
- 16 モード判定処理手段
- 17 バーコードファイル
- 20 カatalog等
- 21 商品写真
- 22 バーコード

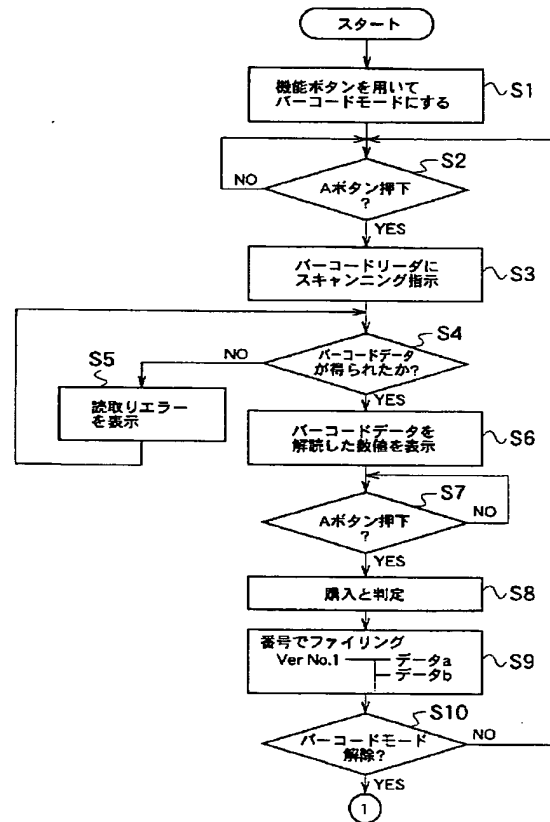
【図3】



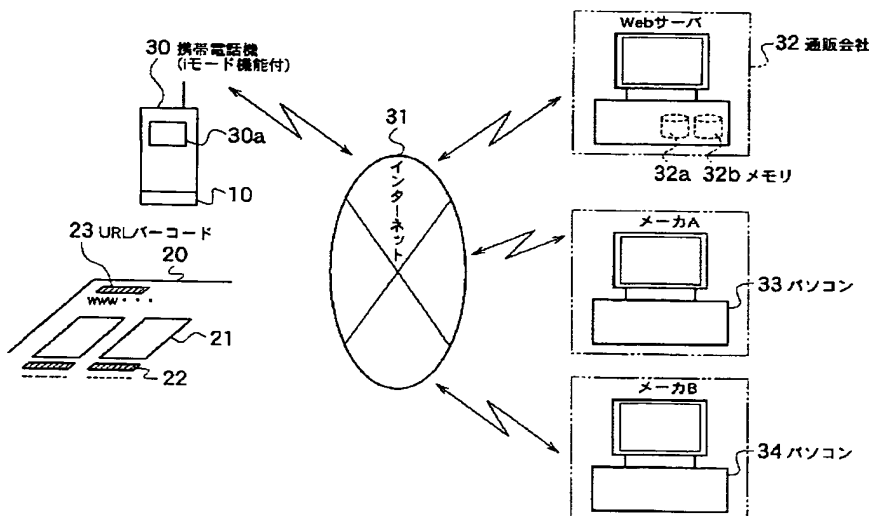
【図1】



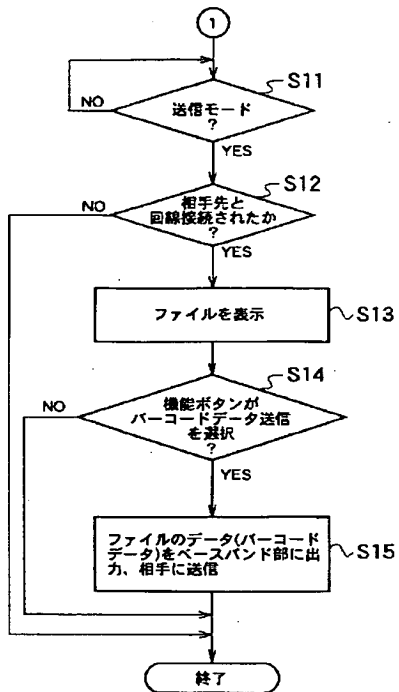
【図4】



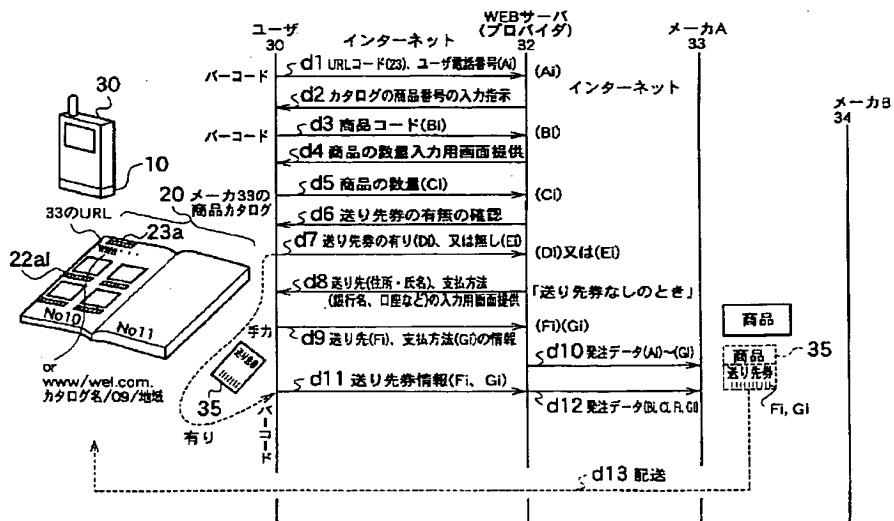
【図6】



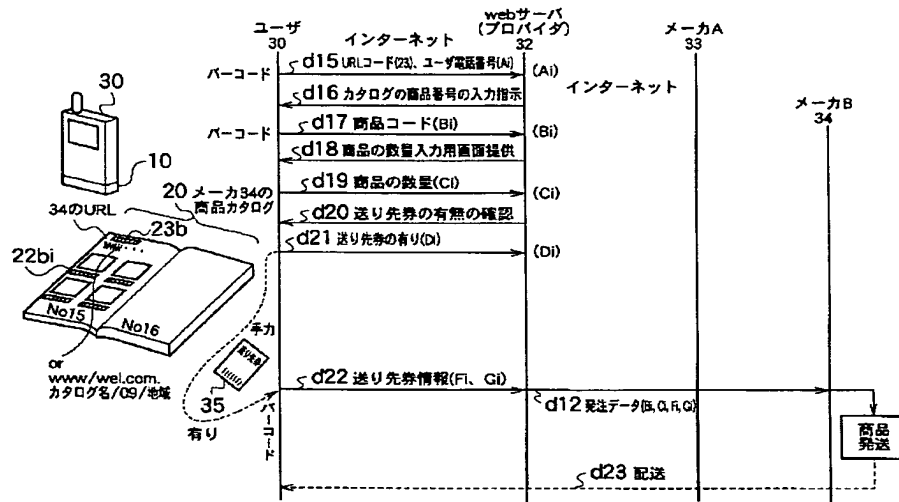
【図5】



【図7】



【図8】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.

H04M 11/00

識別記号

302

FI

H04M 11/00

テーマコード(参考)

302

Fターム(参考) 5B072 BB00 CC24 GG07 GG09 LL11

LL12 LL18 MM02 MM04 MM12

5K101 KK17 LL12 NN04 NN18 NN21